

奥入瀬溪流エコツーリズム フォーラム 2009 開催報告

昨年に引き続き、「奥入瀬溪流エコツーリズムフォーラム 2009 ～奥入瀬溪流世界遺産登録研究～」が開催されました。約 300 名の来場者を迎え、永続的な自然環境保全のあり方について、市民の皆様と一緒に考える機会となりました。



日時 / 平成21年9月28日(日) 15:00 ~ 18:00
場所 / 十和田市民文化センター
NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学
共催 / 奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会

基調講演



十和田市教育委員会教育長
米田 省三氏

テーマ

「瑠璃色の水、 奥入瀬溪流は命を育む水」

十和田湖や奥入瀬溪流などには、かつて数多くの文人らが訪れ、当時の原始性を帯びた“青い水”や“緑の木々”の豊かな自然を賞嘆してきている。しかし、最近は環境のリズムによって神秘性が壊されているようであるので、エコツーリズムの視点に立った観光推進や自然保護は新しいスタイルとして大いに期待が持たれると思う。

パネルディスカッション

コーディネーターに佐藤正昭氏（青森公立大学副学長）を迎え、「魅力再発見、私たちの奥入瀬」と題し、パネルディスカッションが行われました。



テーマ

「魅力再発見、私たちの奥入瀬」

青森県ウォーキング協会
理事長

中嶋 與志久氏



奥入瀬溪流路を歩いていると、自然のパワーを貰えるような気がする。今後、歩く観光を全面的に推進していきたい。

(株)青森放送放送部長
米澤 章子さん



奥入瀬溪流路を車椅子でも歩行可能にすることや、溪流沿いには15余りの名瀑が連なっており、それぞれの名称にはロマンや物語が潜んでいると思われるので、調査研究をしてみたらいかがだろうか。

全国巨樹巨木林の会
会員

高淵 英夫さん



奥入瀬川周辺には、森の神と呼ばれるブナの巨木が一本立っているが、これに類する魅力ある木々が残っているので安全に探索できる方法を検討して欲しい。

青森県立十和田西高校
3年
中村 史子さん



奥入瀬溪流の躍動感あふれる水の流れる生々としており、五感で自然力を実感できるので、溪流路の要所に休憩や写真撮影等の出来る場を設置することが望ましい。